

■ 議 事

諮問事項（3）既存事業の見直しについて

③ 敬老会のあり方

1～2ページ

諮問事項（4）高齢者施設のあり方について

3～4ページ

### 3 敬老会

#### ○現状制度

例年9月に、75歳以上を対象として、郡山市と各地区町内会連合会等で組織する各地区敬老会実行委員会との共催により各実行委員会を単位として実施。

- ・目的 社会に貢献されてきた高齢者の労苦をねぎらい、感謝の意を表するとともに長寿と健康を祝福する。
- ・令和元年度実施状況 令和元年9月1日（日）から9月16日（月）の土・日・祝日に各地区において開催（56地区）  
会場・・・公民館、小学校体育館、集会場等
- ・市からの記念品  
75歳以上の方（全員・約42,000名）・・・抹茶入玄米茶（あさか舞使用）  
88歳（米寿・約1600名）及び99歳（白寿・約110名）・・・デジタル温湿度計
- ・市は、対象者数に応じた負担金を各地区に交付する。
- ・令和元年度予算額 71,205千円

#### ○見直しの背景

- ・対象者の増加による事業費の増加（資料3 22ページ）
- ・出席率の低迷（資料3 24ページ）
- ・実行委員のなり手不足（資料3 25ページ）
- ・地域行事として定着している一方、地域の負担が大きい。（資料3 25ページ）
- ・開催時期の柔軟性が求められている。（資料3 25ページ）
- ・対象年齢の再検討（資料3 25ページ）
- ・記念品の内容、配布方法（資料3 24、25ページ）
- ・開催方法の再検討（資料3 24、25ページ）

#### ○見直しの方向性

項目	方向性
開催方法の見直し	地域行事としてのあり方 （実行委員の負担軽減、全世代が高齢社会について考える契機、高齢者が主役となる行事）
対象年齢の見直し	社会情勢への変化への対応（平均寿命の伸び、対象者数の増加）
記念品の見直し	敬老の意の表し方

○委員のご意見をいただきたい点

- ・「高齢者の労苦をねぎらい、感謝の意を表するとともに長寿と健康を祝福する」という現在の目的に、さらに健康寿命の延伸及びすべての世代が支えあう地域共生社会の実現を目指すための地域づくりを加えることについて。
- ・参集方式開催で75歳以上の市民を対象者としていることと出席率の低迷について  
※事業実施する上で、多くの市民に参加していただきたいが、現在の平均出席率は約2割と低迷している。2017（H29）に実施した一般高齢者実態調査によれば、敬老会に参加したくない理由として「内容に魅力がないから」が最も多い。多くの方に参加していただける魅力ある敬老会にするには、どのような内容が考えられるか。（資料3 22ページ）
- ・75歳以上の全市民を対象者とした記念品配布及び負担金について  
※敬老会の出席率は約2割で、参加せずに記念品のみを受取りに来る人が多いのが現状である。また、受取に来ない方へは実行委員が配付している地区、まったく配付しない地区と記念品については取扱いに差がある。近年は実行委員の負担が大きいため配付をやめる地区が多くなっている。

## 諮問事項（４） 高齢者施設のあり方について

### ○ 現状

- ・ 市内に 13 施設（詳細は資料 3 34 ページ～）

種類	施設名	目的	サービス内容
老人福祉センター	中央老人センター	高齢者に憩いと交流の場を提供し高齢者福祉の増進。高齢者の生きがいや健康づくり、社会参加を促進する。	健康体操、生活・健康相談、教養講座、クラブ活動支援、入浴、貸室
	寿楽荘		入浴（温泉）、休憩（大広間、個室）、教養講座
高齢者文化休養センター 逢瀬荘			入浴、休憩、宿泊、食事、貸室、教養講座、カラオケ、ゲートボール（屋内）
市民福祉センター サニー・ランド湖南			入浴（温泉）、休憩、貸室、教養講座、カラオケ、ゲートボール
地域交流センター	西田地域交流センター	市民に憩いと交流の場を提供し市民福祉の増進。高齢者をはじめとする市民の生きがいや健康づくり、社会参加を促進する。	入浴、休憩、カラオケ、教養講座、貸室（喜久田を除く）、ゲートボール（日和田を除く）等
	三穂田地域交流センター		
	田村地域交流センター		
	中田地域交流センター		
	喜久田地域交流センター		
	日和田地域交流センター		
デイサービスセンター	中央デイ・サービスセンター	利用者の生活機能の維持又は向上を目指しデイサービス事業を実施する。	生活指導、日常動作訓練、健康チェック、入浴・給食サービス、送迎
	湖南デイ・サービスセンター		
	富久山デイ・サービスセンター		

### ○ 背景

- ・ 13 施設中 9 施設は築 25 年以上で老朽化の進行。最長 52 年超。（資料 3 35 ページ）
- ・ 利用者の減少が続く施設（寿楽荘、三穂田・田村地域交流センター）もある。
- ・ 民間事業所との競合 デイサービスセンター（市内 112 か所）等
- ・ 高齢者健康長寿サポート事業（市内 52 温泉施設等利用可能）との役割整理
- ・ 幅広い視点での有効活用 地域交流センター 6 か所で子どもの居場所づくり等
- ・ コスト（運営コスト、施設維持補修）

【令和元年度指定管理料】

単位：千円

施設名	指定管理料	備考
中央老人福祉センター	20,880	
老人福祉センター 寿楽荘	14,939	
高齢者文化休養センター 逢瀬荘	65,051	
市民福祉センター サニー・ランド湖南	32,235	
地域交流センター	53,982	6施設
デイサービスセンター	35,497	3施設
計	222,584	

○見直しの方向性

項目	方向性
施設のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者と競合する施設は必要性を精査する。</li> <li>・築年数、利用者数、周辺公共施設配置等を総合的に判断。</li> </ul>
サービス内容のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者健康長寿サポート事業により市内の温泉施設等が利用可能となっていることから、入浴サービスの必要性を精査する。</li> <li>・民間事業所と競合するサービスの必要性の精査。</li> </ul>
有効利用のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が自ら活動する活動拠点の提供（アクティブシニアの活動拠点）</li> <li>・幅広い視点での有効活用 多世代利用等</li> </ul>